

ホップ♪ ステップ♪ のとがわ

一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会

第22回 能登川ふれあいフェア

テーマ：絆の輪を広げよう びわ湖から

10月19日(日) ふれあい運動公園 (参加者 約4万人)

■主催：能登川ふれあいフェア実行委員会 (事務局：コミセン)

■共催：東近江市、東近江市商工会能登川支部

■協賛：のとがわ福祉の会



開会セレモニー



ふわふわドームに列をなす来場者

会場では、水車太鼓やフラダンス、ダンスグループのステージ発表や立命館大学のアカペラサークル、よさこいサークルの演技、キャラクターショーのほか各種団体による物産販売や団体PRのブース、リサイクルフリーマーケットの出店などがありました。秋晴れの空の下、家族連れなど老若男女が集いフェアを楽しんでいました。

能登川中学校生徒会美化活動 『フラ輪プロジェクト ～花でつながる地域の輪～』

JR能登川駅を美しく!!



植栽の説明を聞く



苗植えをしたビオラに水やり

10月24日(金) JR 能登川駅西口付近

能登川中学校生徒13名

活動応援団として、(一社)能登川地区まちづくり協議会 環境事業部会員・地域有志・東近江市能登川支所職員計19名が参加

発行日：平成26年12月1日

発行：一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会 広報事業部

〒521-1223 東近江市猪子町1番地1 能登川コミュニティセンター内

IP 電話 0505-802-2793 (平日午前中) FAX：0748-42-1556

E-mail：notomatikyo@e-omi.ne.jp

http://notomatikyo.com/

第11回 2014 Lighting Bell in NOTOGAWA



- 会 場：林中央公園 (JR 能登川駅西口徒歩 5 分)
- 点灯期間：12月13日(土)～12月23日(火・祝日)
- 点灯時間：17:30～22:00
- 点灯式：12月13日(土)17:00～
*模擬店もあります。



飾り付けボランティアを募集 当日参加、大歓迎!

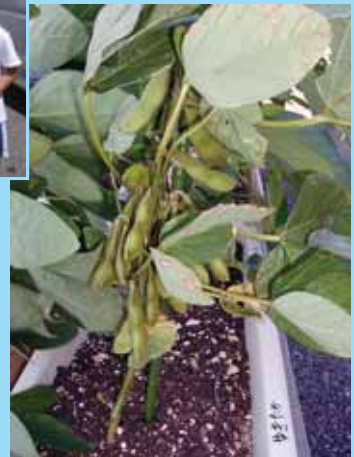
- 日時：○11月22日(土)・23日(日)・29日(土)・30日(日)
- 12月6日(土)・7日(日)
- (時間 9:00～12:00、13:00～16:00)

- 主催：ライティングベル実行委員会
- 共催：一般社団法人能登川地区まちづくり協議会
- お問い合わせ：電話 0505-802-2793 (平日午前中)
- <http://notomatikyo.com/>

能登川北学童保育所 **** JAさんと一緒に!! (7～10月) ****

JA グリーン近江能登川北支店の職員さんに教えていただきながら枝豆を育てました。

一人ずつ“自分の枝豆”があり、どんどん大きく育っていく過程を観察し、収穫したあとは美味しくいただきました。



土作り・種まき

支柱立て

収穫前

歴史点描 ②4

市史編纂室だより

葎と能登川

「葎」といえば葎簀や葎戸、葎葺き屋根などを思いつくかもしれません。葎は英語で Reed ですが、オーボエ・クラリネットなどの「リード」はまさにこの Reed (葎) を乾燥させたものです。葎葺き屋根などは、時代の変化により懐かしい風景になりつつありますが、能登川地区の琵琶湖岸や内湖岸が葎の生育に適していることは、今も昔も変わりません。

各地域に残る明治前期の地籍図では、蒲生郡須田村に「葎地」、伊庭村に「葎」、北須田・能登川・安楽寺の間に「葎地」、山路村・鉢光寺村・乙女浜村・福堂村・栗見新田村・栗見出在家村に「葎」または「葎地」が記されていますので、内湖岸に帯状の葎地があったことは間違いありません。近世においても、福堂村前の内湖に葎地が島状に分布していたことを示す絵図が残っています。

この葎には等級が付けられ、葎地そのものも売買されていました。葎地には「小物成」という雑税が課され、その年貢率は葎の等級に応じて決められていたようです。

能登川の歴史は「葎」と深い縁があります。繁茂する葎を見たとき、「能登川の歴史」と「葎の歴史」に思いをはせるとその風景も一段と趣があります。

(出典：『東近江市史 能登川の歴史』第2巻 中世・近世編)



能登川地区まちづくり計画策定委員会のご紹介

一般社団法人能登川地区まちづくり協議会では、平成21年に「能登川地区まちづくり計画」を策定しましたが、既に5年が経過しましたので、新たに委員会を設け、本年9月から来春にかけて更新作業を行っています。

地区内で委員を公募して、3名が選任され、ご活躍いただいております。

今後、「住みよいまち 住みたいまち 住み続けたいまち」を実現するための提言を取りまとめ、住民のみなさま方の要望にお応えしたいと考えております。

能登川地区まちづくり計画策定委員 (敬称略・順不同)

委員長	谷口浩志 (びわ湖学院大学短期大学部ライフデザイン科教授)
副委員長	四方秀亮 (一般社団法人能登川地区まちづくり協議会副会長)
委員	大橋正徳 (東近江市青少年育成市民会議能登川支部長)
委員	田中光一 (東近江市社会福祉協議会)
委員	杉浦隆支 (一般社団法人能登川地区まちづくり協議会理事)
委員	門脇宏 (公募委員)
委員	村西宏 (公募委員)
委員	村林淳子 (公募委員)
事務局	今井陸之助
事務局	大橋正司



能登川病院の指定管理「昴会」に！

■能登川病院をよくなる会

既報のように、東近江市は能登川病院の健全経営を確立させ、地域医療の中核を担う体制づくりのため、公設民営の方針を打ち出し、9月議会に市の条例改正を提案して賛成多数で採決されました。

その後、関係委員会に対し、単独指名した医療法人社団「昴会」に対する審査・プレゼン・採点を行う審査会の開催を済ませました。引き続き、10月28日の臨時市議会で「昴会」を能登川病院の指定管理者とする議案が可決されました。

今後は、移行体制の構築に向けての事務業務などと、能登川地区住民への説明会を開催して、「昴会」の医療理念と運営方針と、患者・家族への高度の医療を届ける意向を伝えて、市民各位に安心・安堵を感じてほしいと思います。

私たちは「昴会」にも、「能登川病院をよくなる会」の活動状況を伝え、さらなる多くの会員が病院を支える態勢を維持し、未来永劫この地域の中核病院であり続けることを念じます。



能登川地区における 自主防災のための「e 防災マップ」づくり説明会開催

- 日時：10月17日(金) 19:30～
- 会場：コミセン3階研修室
- 参加：26自治会
- 参加者数：55名
- 主催：一般社団法人能登川地区まちづくり協議会 安全・安心事業部

*「e 防災マップ」とは、地域の防災資源や危険箇所をはじめ、災害時に行う対応や日頃行う防災活動などを、地図として空間的に表現したものです。

今夏も各地で災害が発生しているおり、当地区での関心も高く、予想以上のご参加を得て開催しました。

茨城県つくば市「第5回防災コンテスト事務局」並びに「独立行政法人 防災科学技術研究所」から講師をお招きしました。同研究所主催の「第5回防災コンテスト 地域の絆をつくるe防災マップの部」を活用した地域の防災マップづくりを始めるための説明や意義を学んでいただきました。



のとがわ コミセンだより

平成26年度 第7号
発行日：平成26年12月1日
発行：能登川コミュニティセンター
【電話】42-3200
【FAX】42-3222
【IP】0505-801-3200

能登川地区第56回文化祭 有終の美を飾る

10月27日(月)～11月3日(月・祝)能登川コミュニティセンターと能登川南小学校体育館において、能登川地区第56回文化祭（主催：能登川地区文化祭実行委員会 事務局：コミセン）を開催しました。

来年度コミセンが移転するため、この建物で開催する文化祭は最後となり、例年になく多くの人々が来場され華やかに盛り上がりました。



菊花展



ダンスパーティー



歴史講話



囲碁大会



芸能発表会



将棋大会



模擬店



作品展示



野点

能登川地区 青少年育成大会

主催：東近江市青少年育成市民会議能登川支部（事務局：コミセン）

11月1日(日)「大人が変われば 子どもも変わる」をテーマに能登川地区青少年育成大会を開催しました。能登川中学校軽音楽部のみなさんがオープニングを飾り、善行青少年やあいさつ運動啓発ポスター入賞者の表彰、青少年の主張、PTAの取り組み発表がされました。

前聖徳中学校長 辰己 三喜雄氏が、「今どきの子ども—そのために大人、地域は…」と題して、子どもたちの現状にふれ、社会的背景などあらゆる視点から捉え大人や地域で育ちの支えにかかわるようユーモアを交えながら講演されました。たくさんのかたがたに拝聴いただき、有意義な大会となりました。

